デジタルサウンドメーカー

CASSETTE to DIGITAL Compact

取扱説明書

製品型番；NV-CM002U

<目　次>

1.　製品の紹介 1

2.　セットアップガイドの注意事項 2

4.　同梱物の確認 6

5.　カセット本体の仕様..... 7

6.　本体の各部の名称 8

7.　ソフトウェアの動作環境と仕様 10

8.　カセットテープおよび製品の取扱いについての注意事項 12

9.　パソコンとの接続 13

10.　Windows のサウンドの設定を確認する..... 15

11.　honestech MP3 Editor 2.0 SE のインストール..... 17

12.　honestech MP3 Editor の起動..... 21

13.　録音 23

13.1　録音 23

13.2　オプション設定..... 26

13.3　リスト上のトラックの操作メニュー..... 30

13.4　基本的は録音手順 32

14. 編集 33
14.1 編集画面の起動 33
14.2 ファイルを分割する 38
14.3 エフェクト効果 41
15. 公開（ファイルの変換/書き込み） 44
15.1 公開(ファイルの変換/書き込み)画面 44
15.2 WAV ファイルからオーディオ CD または MP3CD を作成する 49
15.3 WAV ファイルを MP3 ファイルに変換する。 52
16. よくある質問 55
17. 購入後の保証について 57
18. アフターサービス 59
19. サポート窓口 61
保証書 62

ご使用になる前に

ご使用になる前に、本紙をよくお読みの上、正しくお使いください。

1.　製品の紹介

CASSETTE to DIGITAL Compact は本製品のカセットテープで再生した音楽をパソコンへ録音する機能を備えた製品です。

ドライバのインストールは　プラグアンドプレイで OS 標準のドライバで自動認識し、インストールが簡単です。

また、付属のソフトウェア(h onestech MP3 Editor 2.0 SE)では、本製品を使用しカセットテープをパソコンのハードディスクに WAV 形式で録音したり、録音したファイルやパソコンに保存されている音楽ファイル(WAV,MP3,WMA,ASF,MP2)を WAV または MP3 形式に変換したり、音楽 CD や MP3 CD を作成したりすることができます。

2.　セットアップガイドの注意事項

本セットアップガイドでの注意事項

1. 本紙の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。
2. 本紙の内容につきましては万全を期して作成いたしますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
3. ソフトウェアおよび本紙を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※ Windows は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。

※ その他、本紙に記載されている会社名･製品名は各社の商標または登録商標です。

※ 本紙は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。

※ 本紙の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください

3.　安全に正しくお使いになるために

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読みください。下記注意事項を本書に従って、正しく安全に使用してください。

------ 警告・注意 ------

けがの恐れがあります。

- 落下、不用意な接触などに十分注意してください。
- 足など体の部分の上に落下させ、あるいは不用意にぶつけるなどすると、けがの原因となります。不安定な場所には置かないでください。特に乳幼児・児童の近くでご使用になる場合は、厳密に管理してください。
- ケーブルの巻き付けなどにご注意ください。乳幼児・愛玩動物の首などにケーブル類が巻き付くと、死亡など重大事故の恐れがあります。厳密に管理してください。

火災の恐れがあります。

- 強磁界、強電界の場所で保管やご使用にならないでください。火災の恐れがあります。

- 本製品をパソコンに装着され通電された状態で長時間、本機から離れないでください。長時間離れる場合には処理を終了し、本製品の電源をお切りください。

感電・けがなどの恐れがあります。

- 落下などにより損傷した場合、また、移動などに際しケーブルの傷がついた場合などは、すみやかに使用を中止してください。また、破損部分や内部には手など触れないようにしてください。
- 分解しないでください。内部に不用意に触れると、けが、感電などの恐れがあります。
- 湿気やほこりの多い所水中などで使用しないでください。感電などの恐れがあります。

幼児が飲み込む恐れがあります。

- 添付部品などには、乳幼児の口に入る小さな部分があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。

免責事項について

※ 地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害

に関して、当社は一切責任を負いません。

※ 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求について、当社は一切責任を負いません。

※ 本製品に付属のセットアップガイドの記載内容を守らないことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

※ ハードディスクに記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。　大切なデータ等は、使用前、使用中は、必ずお客様の責任の下、バックアップされるようお願いいたします。

4.　同梱物の確認

本製品には、以下のものが含まれています。

最初にパッケージの中にすべてのものが含まれているかどうかをご確認ください。

- 本体　X 1
- ソフトウェア CD-ROM　X 1　(※注 1)
- USB ケーブル　X　1
- 取扱説明書　兼　保証書

※ 保証書は、本書最終ページにあります。

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

注1　付属のソフトウェア CD-ROM につきましては、紛失した場合再販、および再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

5.　カセット本体の仕様

USB	mini USB B コネクタ
電源	1.5V 単 3 電池 X2 本、または　USB バスパワー(※)
音声出力端子	3.5mm ステレオミニピンジャック
本体サイズ	81 X 112 X 31 mm(突起物を除く)
重さ	170g

※ 本製品には電池は付属しておりません。

※ 充電式電池の利用も可能ですが、使用時間は短くなります。

※ USB バスパワーでの電源供給が不安定な場合、正しく動作しない場合がありますので、その場合は電池を使用してパソコンへ接続してください。

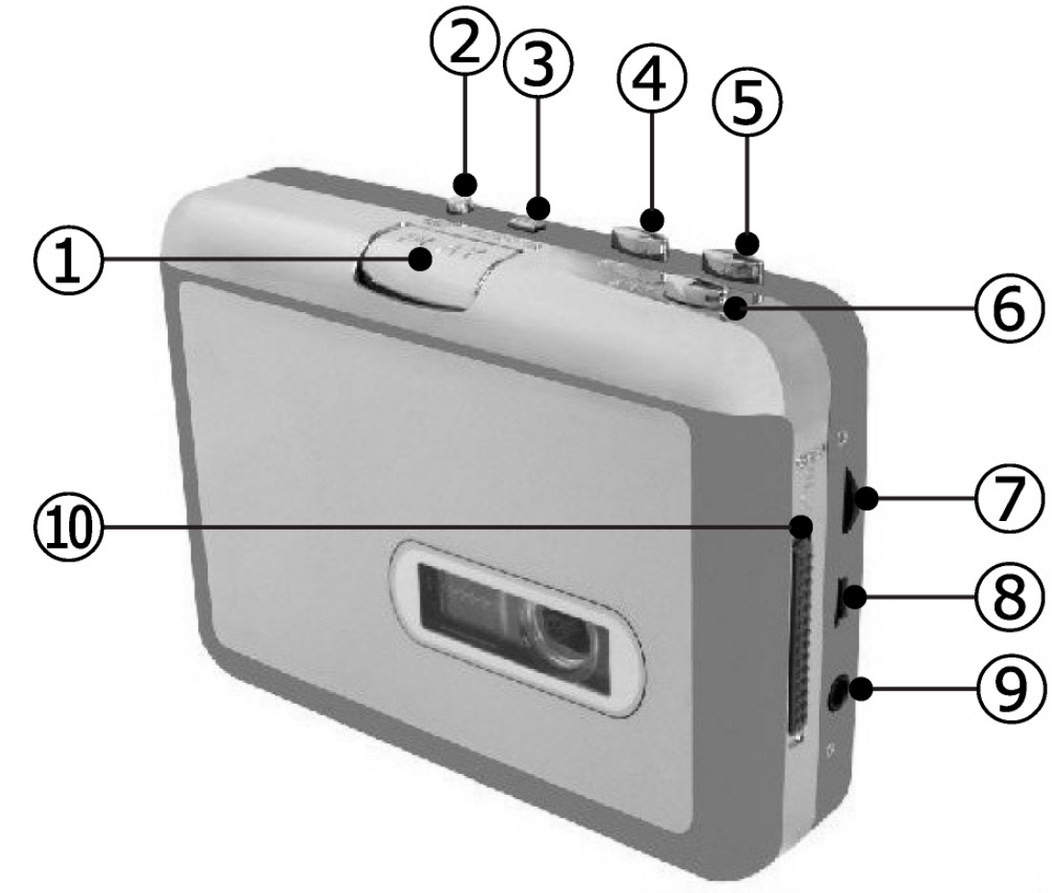
※ 本製品には専用 AC アダプタの付属、およびオプション販売等はありません。

※ 本製品は再生専用機です。録音機能はありません。

※ テープ本来の音質や性能を発揮することを保証するものではありません。

6.　本体の各部の名称

本体各部の名称



1.　PLAY　　テープの再生を開始します。

2.　DIR　　A 面、B 面を切り替えます。

3.　PLAY MODE　　両面再生後に停止、、または両面を繰り返し再生の選択できます。

4. F.F　　テープの早送り
5. REW　　テープの巻き戻し

※FF/REW はテープの再生面ではなく、テープの装着面に対し行います。

6. STOP　　テープの再生を停止します。
7. 音量　　再生音量を調整します。
   付属ソフトでパソコンへ録音する場合は「録音音量」として調整できます。

※注）録音中の音量の操作を行うと、録音したファイルの音量も上下しますので、録音中は操作を行わないでください。

8. USB　　付属のUSBケーブルを使用しパソコンのUSBポートへ接続します。
9. イヤホン端子　　イヤホンを接続します。

※イヤホンは別途市販品をお顔求めください。

10. OPEN　　本体の扉を開けます。

※付属のソフトウェア「honestech MP3 Editor 2.0 SE」から、カセットテープの「再生」、「停止」などの操作を連動して行うことはできません。

7.　ソフトウェアの動作環境と仕様

honestech MP3 Editor SE(OEM 版)のシステム動作環境

対応 OS	Windows XP 32bit 版 / Windows Vista および Windows 7 32bit 版および 64bit 版。
CPU	Pentium Ⅲ　800MHz 以上
メモリ	256MB 以上（OS がスムーズに動作する環境を推奨）
HDD 空き容量	ソフトウェアのインストール用　約 70MB 以上 オーディオ編集用　4GB 以上
CD 書き込みドライブ	ソフトウェアのインストール、および音楽 CD などの作成に必要。
その他	DirectX9 以降以上、Windows Media Player 9 以降推奨。

※ 上記動作環境を満たしていても、すべての環境において動作を保証するものではありません。

honestech MP3 Editor SE(OEM 版)の仕様

録音形式	WAV
入力ファイル 形式(※1)	WAV、WMA(DRM(著作権保護付)を除く) ※上記形式以外のファイルは扱えません。
オーディオ変換	WAV または WMA (DRM(著作権保護付)を除く)から、MP3 形式へ変換
CD 書き込み	WAV、または WMA (DRM(著作権保護付)を除く)からオーディオ CD、または MP3 CD の作成
その他編集機能	ノイズリダクション、ノーマライズ、増幅(デジタルアンプ)、トラック分割

※1.本ソフトウェアで「編集」、または「CD 書き込み」が可能なファイル形式です。

※2.本ソフトウェアは、機能制限付き(OEM 版)のバージョンのため、ソフトウェアに収録されている PDF マニュアルの記載している内容とは、仕様が異なります。

8.　カセットテープおよび製品の取扱いについての注意事項

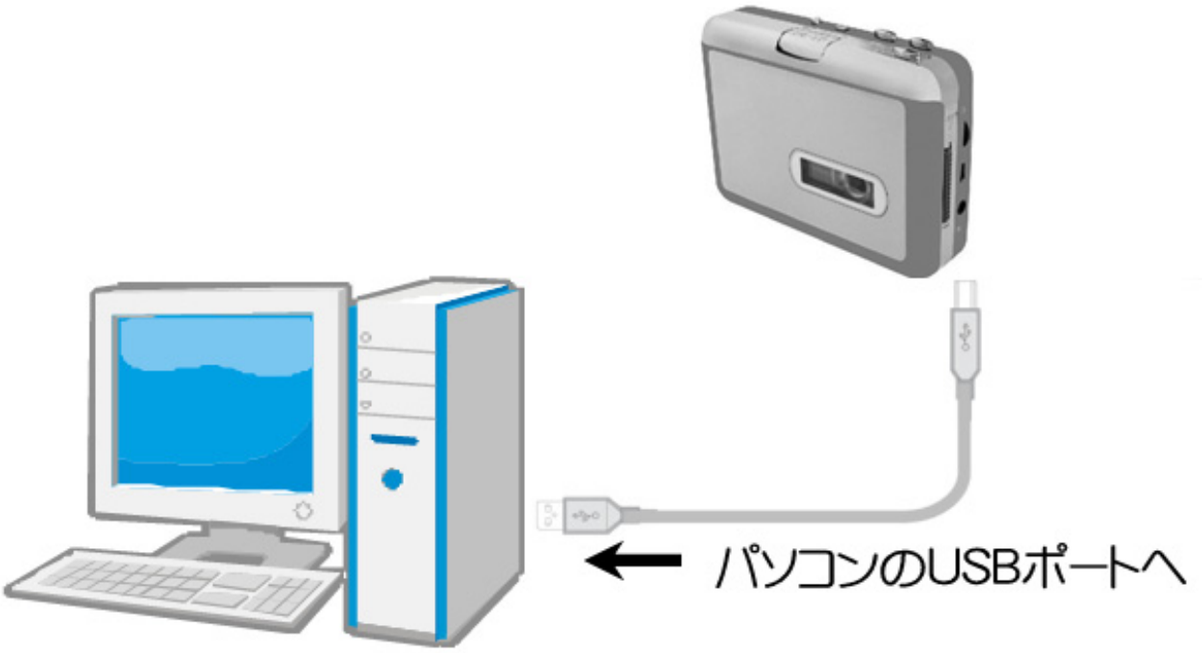
CASSETTE to DIGITAL Compact 本体を使用するにあたって、以下のことを必ずお守りください。

1. カセットテープを装着する際、テープに損傷や弛みなどがないことを確認してから挿入してください。テープに損傷や弛みがあると、本体への巻き込みの原因となります。
2. 再生中にカセット本体の扉を開けたり、テープを取り出したりするなどの操作をしないでください。テープの巻き込みや脱落、本体の故障の原因となります。カセットテープの取出し操作をする場合は、テープの再生を停止してから行ってください。
3. 再生中や停止中を問わず、本体をゆすったり、衝撃を加えたりしないようにご注意ください。
4. 長期間使用しない場合は、パソコンから取り外し、電池や装着されている場合は、電池も取り外して保管してください。
5. 本体には無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

上記を守らず本体が破損した場合は、保証の対象となりませんので予めご了承ください。

9.　パソコンとの接続

1. パソコンを起動し、下記図の様に付属の USB ケーブルを使用し、CASSETTE to DIGITAL Compact 本体をパソコン本体の USB ポートへ接続します。

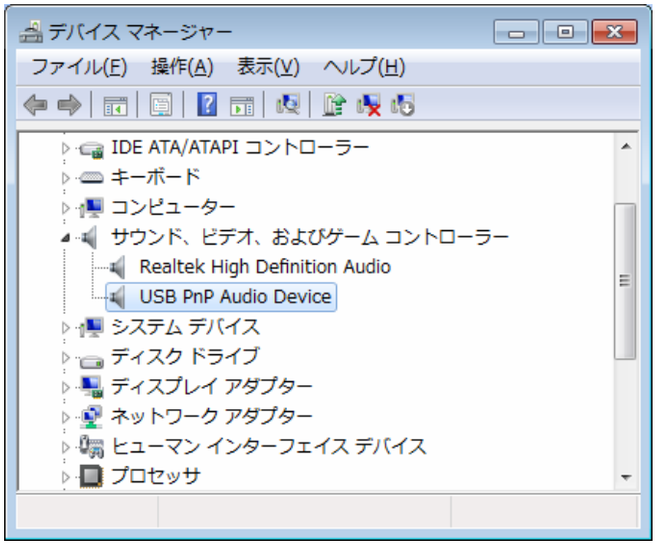


※ パソコン本体や USB インタフェースカードの仕様、バスパワータイプの USB HUB 等に接続した場合など、USB バスパワーでの電源供給が不安定な場合、正しく動作しない場合があります。そのような場合はセルフパワー方式(AC アダプタ付)の USB ハブを利用し接続してください。

※ 他の USB ヘッドホン、USB オーディオ機器等と併用した場合、正しく動作しない場合がありますので、それらの機器を取り外してください。

2. パソコンに接続すると、OS 標準のドライバでデバイスマネージャ上の「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の項目内に、以下の様な名称で自動的に認識されます。

■Windows Vista / 7 の場合



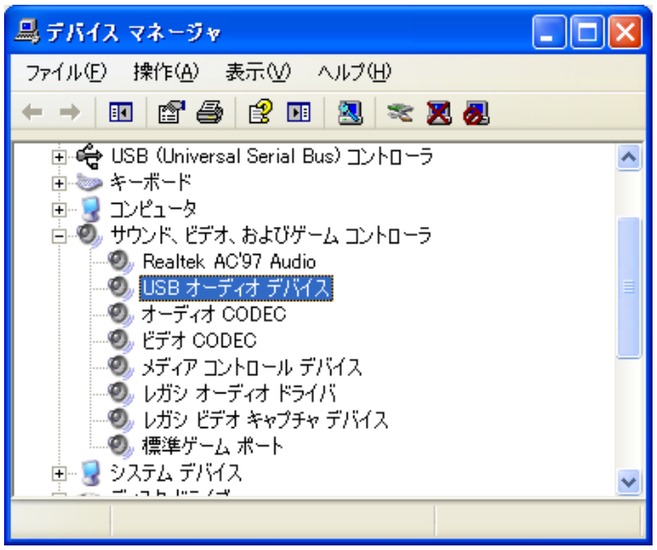
「USB PnP Audio Device」と認識されます。

※デバイスマネージャの開き方

「スタート」ボタン>「コンピュータ」を右クリック>「管理」と進み、「コンピュータの管理」画面の左側のツリーより

「デバイスマネージャ」をクリック。

■Windows XP の場合



「USB オーディオデバイス」と認識されます。

※デバイスマネージャの開き方

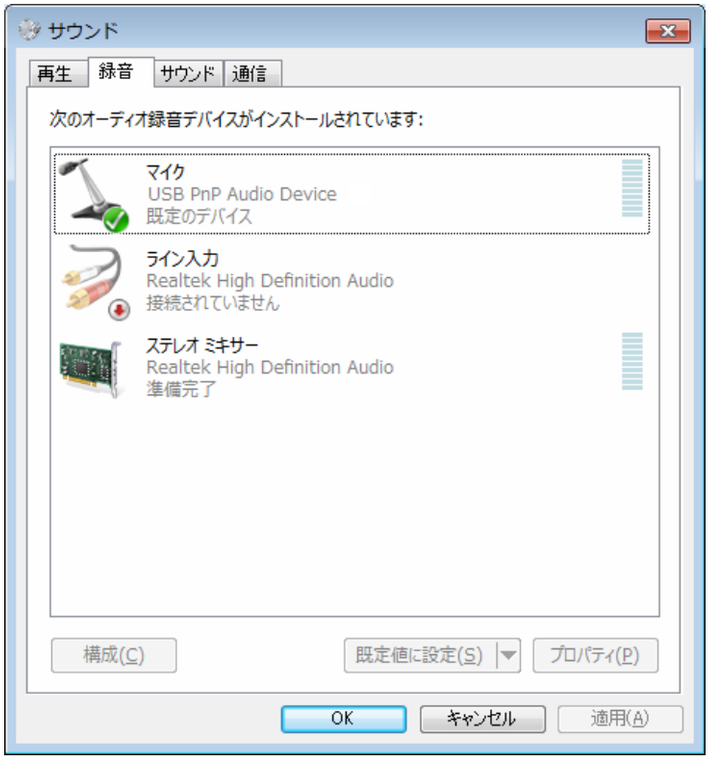
「マイコンピュータ」を右クリック>「プロパティ」と進み、システムのプロパティより「ハードウェア」のタブを選択して、「デバイスマネージャ」のボタンをクリック。

10.　Windows のサウンドの設定を確認する

パソコンとの接続を確認したら、次に Windows 側のサウンドの設定にて録音デバイスを確認します。

■Windows Vista / 7 の場合

「コントロールパネル」内にある「サウンド」のアイコンをクリックし、「サウンド」の画面より、「録音」のタブを選択して、右図のように「USB PnP Audio Device」が「既定のデバイス」となっていることを確認してください。



※ Windows Vista で「サウンド」の項目が表示されていない場合は、「コントロールパネル」の左側のメニューより、「クラシック表示」をクリックしてください。

※ Windows 7 で「サウンド」の項目が表示されていない場合は、「コントロールパネル」の右上の「表示方法」より、「大きいアイコン」または「小さいアイコン」をクリックしてください。

■Windows XP の場合

「コントロールパネル」内にある「サウンドとオーディオデバイス」のアイコンをクリックし、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」の画面より、「オーディオ」のタブを選択して、右図のように「録音」の項目内の「既定のデバイス」に「USB PnP Audio Device」が選択されていることを確認してください。

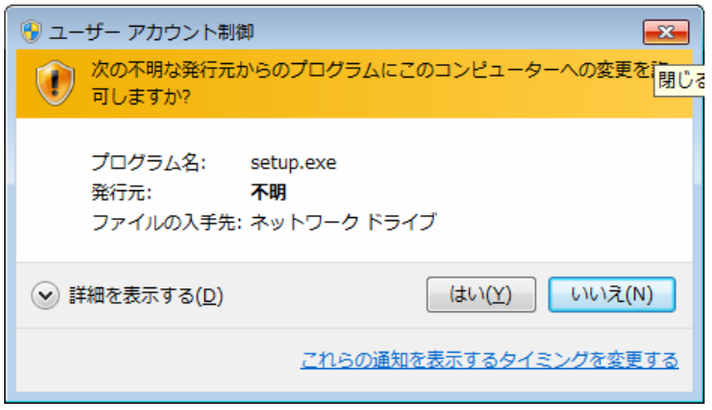
※ 「サウンドとオーディオデバイス」の項目が表示されていない場合は、「コントロールパネル」の左側のメニューより、「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。

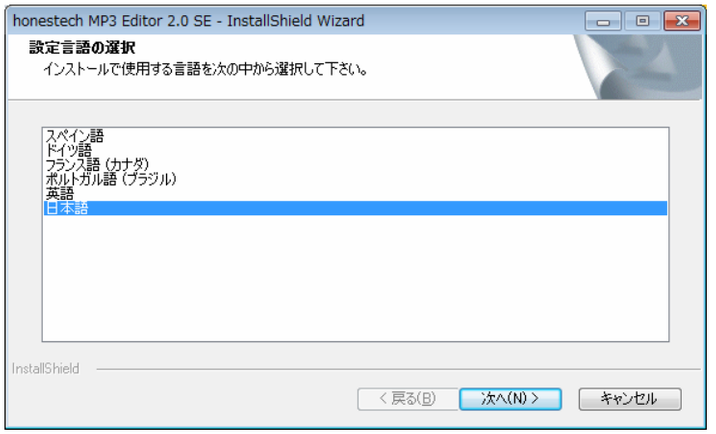
11.　honestech MP3 Editor 2.0 SE のインストール

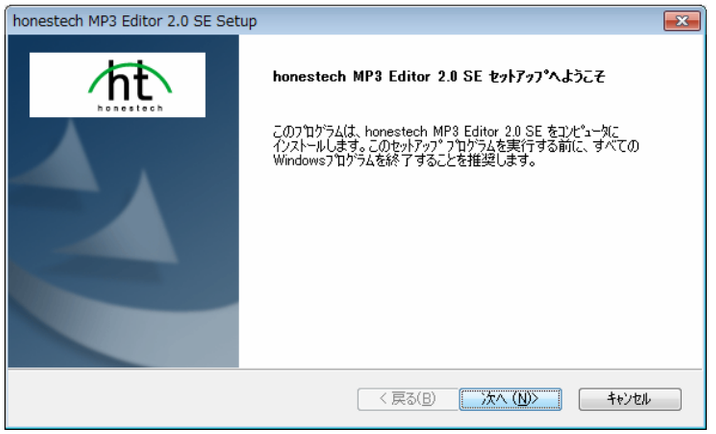
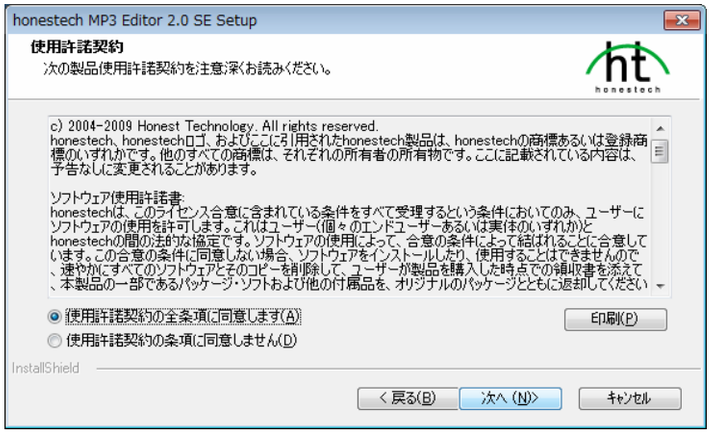
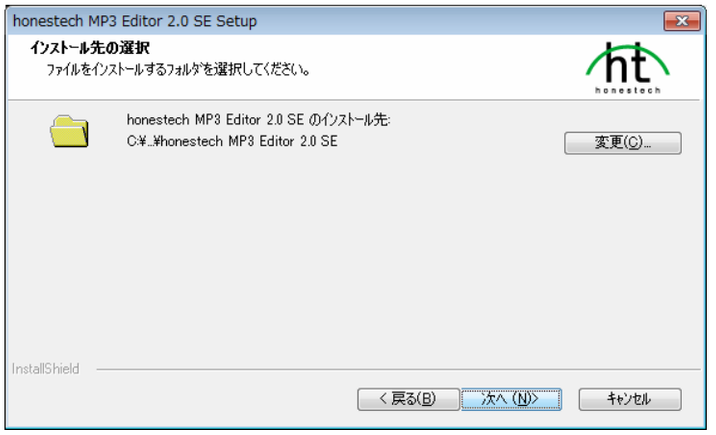
付属のソフトウェア CD-ROM をパソコンに挿入すると、インストール画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

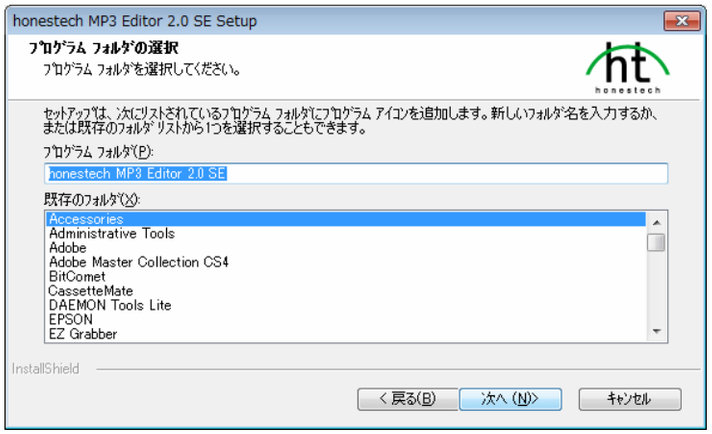
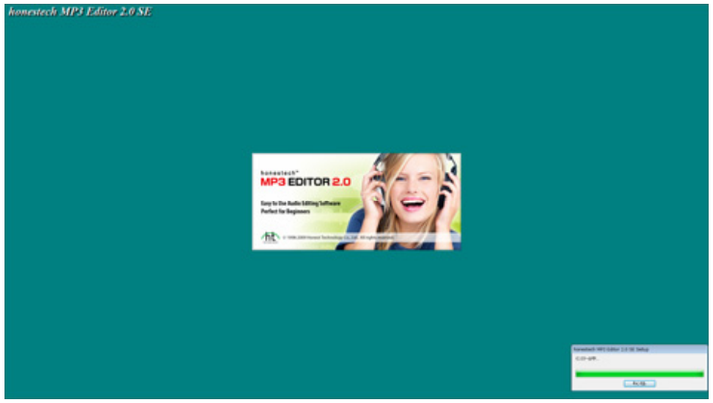
※ ソフトウェアのインストールは、「コンピュータの管理者権限」付きのユーザーで Windows にログインしインストールを行ってください。

※ Windows Vista / 7 環境でのインストールの際、右図のように「ユーザーアカウント制御」に関する警告が表示された場合は、必ず「続行」または「許可」をクリックしてください。

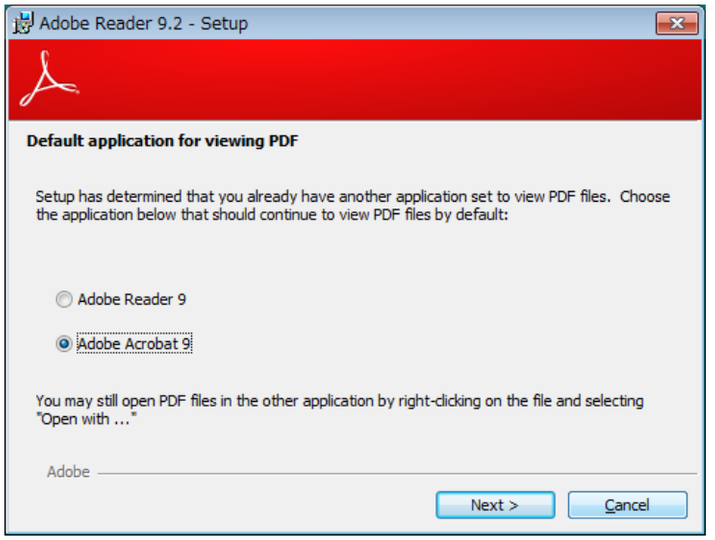


1. インストール画面が起動したら、「言語」を選択して、「次へ」をクリック。	

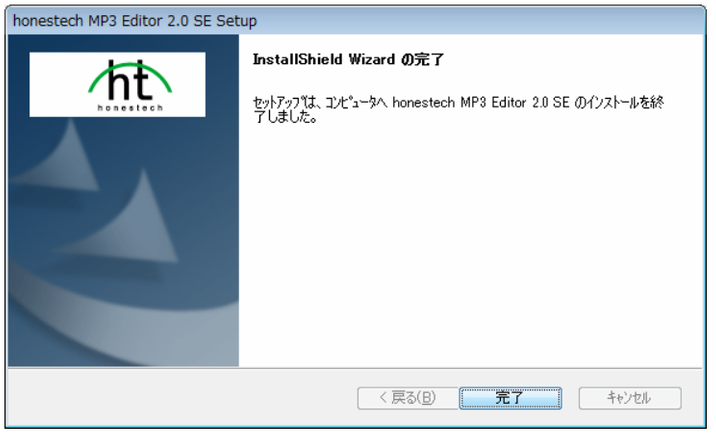
2. 「honestech MP3 Editor 2.0 SE セットアップへ ようこそ」の画面が表示されます。 「次へ」をクリック。	
3. 「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ」をクリック。	
4. インストール先のフォルダの選択画面を確認して、「次へ」をクリック。 ※インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンより、変更してください。	

5. そのまま、「次へ」をクリック。	
6. 「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。	
7. インストール中の画面です、	

8. インストールの途中、「Acrobat Reader」のインストール画面が表示されます。パソコンに「Acrobat Reader」がインストール済みの場合は、「Cancel」をクリック。
まだ「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、「Net」ボタンをクリックし画面の指示にしたがって、インストールを実行してください。



9. インストールが完了したら、「完了」ボタンをクリックして、インストールは終了です。



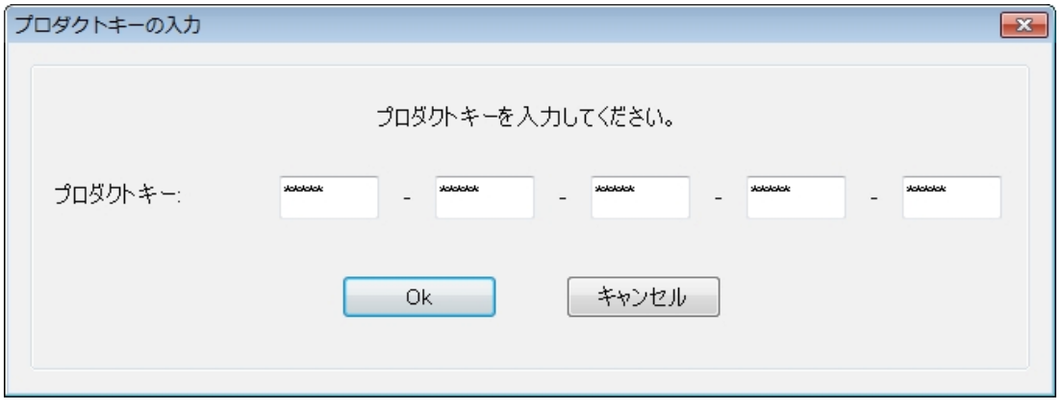
12.　honestech MP3 Editor の起動

録音は本製品の機器(CASSETTE to DIGITAL Compact)を付属の USB ケーブルでパソコンと接続し、付属のソフトウェア honestech MP3 Editor 2.0 SE を使用してパソコンのハードディスクへ録音を行います。

honestech MP3 Editor 2.0 SE の起動

デスクトップ上のアイコン(右図)をダブルクリックして honestech MP3 Editor 2.0 SE を起動できます。

または、スタートメニューから、スタート→プログラム → honestech MP3 Editor 2.0 SE → honestech MP3 Editor 2.0 SE の順に選択して起動します。起動すると、以下のプロダクトキーの入力画面が表示されます。



プロダクトキーは、CD-ROM が入っている袋に記載されていますので、直接入力で大文字、小文字、英数文字を間違えずに正しく入力してくださ

い。

※ プロダクトキーの入力はインストール後、初めて起動したときのみ。

プロダクトキーが正しく入力されますと、以下の画面が表示されます。

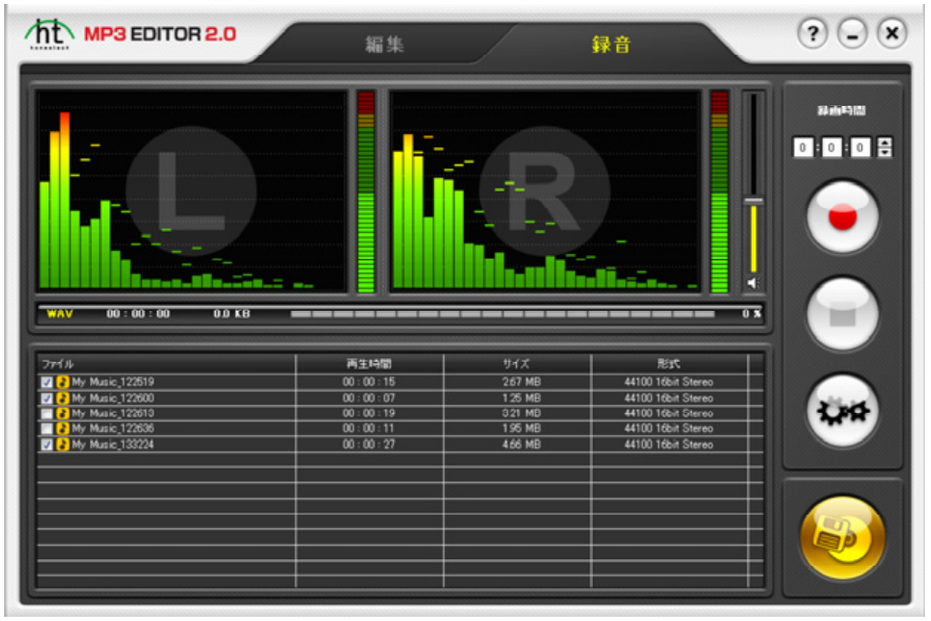
※注）プロダクトキーは紛失しないよう、大切に保管してください。

13. 録音

13.1 録音

前述の起動した画面より、「録音」のタブを選択します。

録音段階で入力音量を調整したり、不要なノイズや雑音を減らしたりできます。 オーディオは WAV 形式で録音されますが、録音後 MP3 形式に変換することもできます。



画面の音量バーまたは音楽プレーヤーの音量を適切な音質に調整します。録音レベルが警告レベル(赤色)を超えないように設定します。 ときどき赤色部分になる場合は問題ありませんが、頻繁に赤色部分にかかる場合は、音質が悪くなります。

1. ；　録音ボタン

クリックするとーディオの録音を開始します。カセットテープを再生し、タイミングを合わせて録音後端を押してください。

2. ；　停止ボタン

録音を停止します。 録音したトラックは下に示すようにリストに追加されます。

3.

；　選択ボタン

上記リストから、変換するまたは CD に書き込む各オーディオトラック横のボックスをチェックします。

4. ；　オプション設定ボタン

録音時の設定を変更します。

5. ；　変換/書き込みボタン

選択したオーディオトラックを書込みリストに追加してから公開(変換/書き込みウィンドウ)を開きます。

6. ；　録音時の音量調整

音量を増減して録音時の音量の大きさを調整します。

7.

；　録音時間設定

録音時間(HH:MM:SS)を設定すると、その時間を経過すると自動的に録音を停止します。

最大時間は 23:59:59 (23 時間 59 分 59 秒)です。

8.

；　ファイルステータス

録音中のトラックの長さやサイズを表示します。

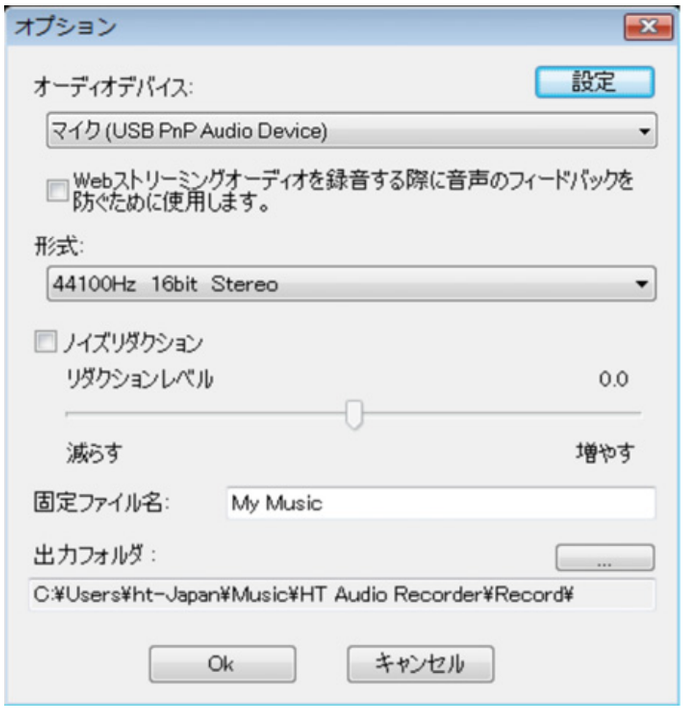
9.

；　録音状態

録音の進捗を表示します(※録音時間オプションの使用時に限る)

13.2　オプション設定

オプション設定では、録音デバイス、音質、ノイズリダクション、保存先などの設定を変更することができます。



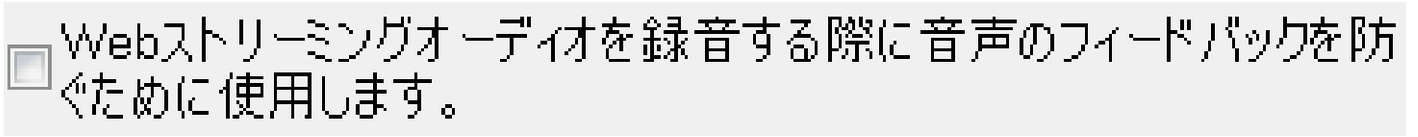
1. オーディオデバイス ;

   利用可能なデバイスから録音デバイスを選択します。

   本製品から録音する場合は、下記のように設定されていることを確認してください。

- Windows 7/ Vista の場合

- Windows XP の場合

2. 

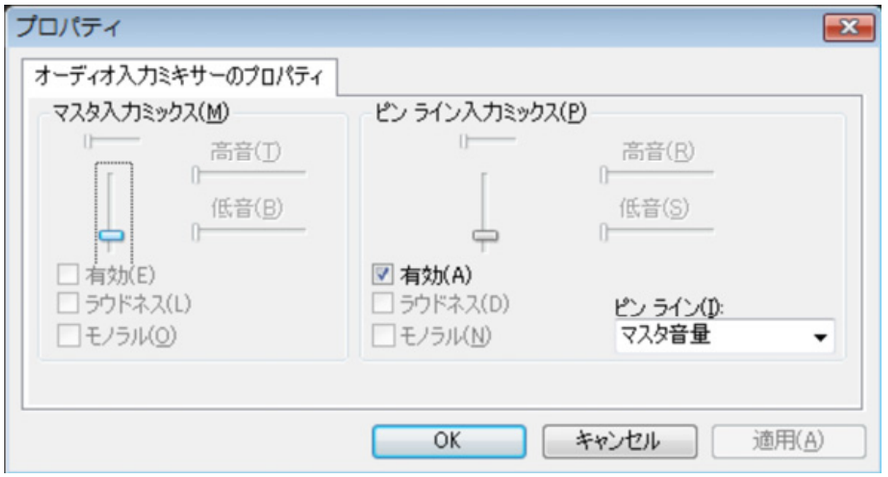
；

この項目に✓マークを入れると、録音中にパソコンのスピーカーからの音声出力を行わず、録音を行います。

3.

；　　設定ボタン

キャプチャデバイスの音量を調整できますが、特に設定を変更する必要はありません。



4. オーディオ形式設定；

録音の音質形式を選択します。

(初期値；44100Hz 16bit Stereo)

5. ノイズリダクション設定；

不要な背景ノイズや雑音を取り除くノイズリダクションの設定を調整します。

※ノイズを完全に消し去るものではありません。

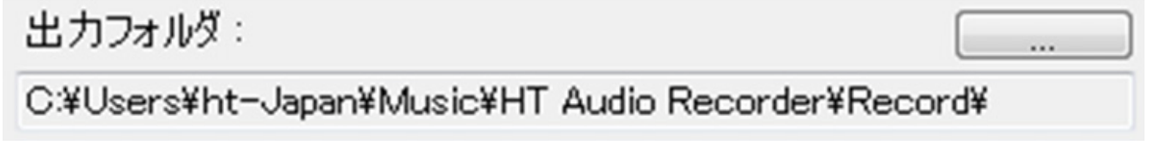
「減らす」側へ移動するとノイズが増え、「増やす」側へ移動するとノイズを軽減します。ただし、調整値を移動しすぎますと、音質も悪くなりますので、適正に行ってください。

6. 固定ファイル名設定；

ここで入力した名前が、出力(録音)するすべてのファイル名の先頭に付けら、そのあとに録音した時刻が自動的に付加されます。

例）My Music_110905　←　11 時 9 分 5 秒に録音した場合

7. 出力フォルダ；



録音したファイルの保存先です。ここで指定されたフォルダに録音

したファイルが保存されます。

保存先を変更する場合は、右図のボタンをクリックして

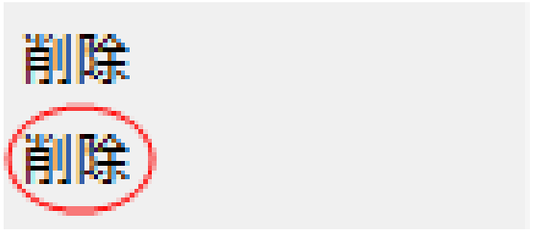
保存先を変更します。

※注）CD-R 等の書き込みドライブを保存先として指定することはできません。

13.3　リスト上のトラックの操作メニュー

リスト上のトラックを右クリックすると、以下のメニューが表示されます。

1. 再生 ;　選択したトラックを再生します。
2. 編集 ;　選択したトラックを「編集」画面に移動し、編集することができます。
3. 削除 削除 ;　上段の「削除」は、選択したトラックをリスト上から削除します。

4. 

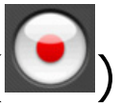
; 下段の「削除」は、選択したトラックをリスト上から削除し、さらに保存先のファイルも削除します。

5.

; 選択したトラックのファイル名を変更することができます。

13.4　基本的は録音手順

1. 「オプション設定」の内容を設定します。
2. カセットテープをテスト再生し、録音音量を調整します。

   録音音量は、カセット本体のボリュームとソフト上の録音時の音量調整の両方でソフト上のレベルが赤レベルに激しく入らないように調整してください。ただし、カセット本体側のボリュームを上げ過ぎないように注意してください。
3. 録音音量の調整が済んだら、テープを再録音したい曲の先頭位置まで戻します。
4. テープを再生し、タイミングを合わせて、録音ボタン()を押します。
5. 録音を終了するには、停止ボタン( )を押します。

※録音時間を指定して録音する場合は、録音時間設定をし録音を開始しますと、設定した時間になると、自動的に得音を停止します。

14.　編集

14.1　編集画面の起動

起動した画面より、「編集」のタブを選択します。

編集では、録音した音楽ファイル(WAV ファイル)を編集できます。 また、既存の WAV、または WMA(DRM 著作権付を除く)ファイルをインポートして編集することもできます。

1 つのファイルとして作成した音楽ファイルを、手動または「自動分割」オプションを使ってトラックを分割でき、また特殊効果を加えることができます。

※ 編集」では WAV、WMA(著作権保護付を除く)形式以外は編集できません。

※ 編集した内容の保存機能はありません。

1. ;　ファイルを開く

録音した WAV ファイルをリストに追加する、または既存の WAV ファイルをインポートします。

2. ;　自動分割ボタン

曲間のギャップを検索して各トラックに対して自動的に分割マークを作成します。 こうすることで、手動でトラックを分割するために必要な長い編集プロセスが不要になります。

※ 曲と曲の間のノイズが大きい場合や、曲と曲の間の時間が短い場合など、自動分割機能が正しく機能しないことがあります。その場合は、後述の「分割ボタン」で「手動分割」をご利用ください。

3. ;　クリアボタン

自動分割した内容を元に戻す、またはトラックを結合して 1 つのフ

ァイルに戻します。

4. ; 分割ボタン

オーディオファイルに分割マークを付けて手動で複数のトラックに分割します。

5. ; ズームイン／ズームアウト／固定ボタン

表示されている波形の表示を、ズームイン、ズームアウト、または全体を波形で表示します。

6. ; 再生／一時停止／停止ボタン

現在選択されているファイルの再生、一時停止、または停止をします。

7. ; 開始／終了位置ボタン

開始または終了位置に移動します。

8. ; 巻戻し／早送りボタン

巻戻しまたは早送りします。(5 秒単位)

9.

; 再生時間表示

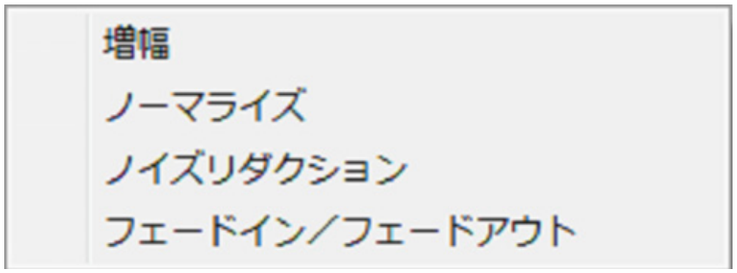
現在の再生位置および合計再生時間を表示します。

10.
; 音量コントロール

再生の音量を調整します。

11.
; エフェクトボタン

オーディオファイルに各種エフェクトを追加します。 以下のオプションから選択できます。



詳しくは、後述「エフェクト」の章を参照してください。

12.
; 元に戻すボタン

オーディオファイルに追加したすべてのエフェクトを元に戻します。

13.

; 選択ボタン

変換するまたは CD に書き込む各オーディオトラック横のボックスをチェックします。

14. ； 変換/書き込みボタン

選択したオーディオトラックを書込みリストに追加してから公開(変換/書き込みウィンドウ)を開きます。

14.2　ファイルを分割する

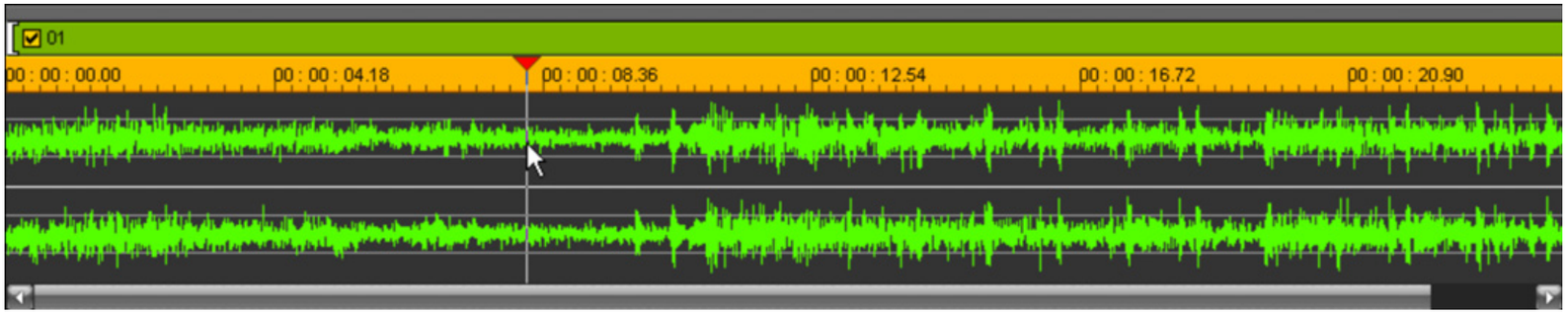
複数の曲がまとまった、1 つのファイルを、曲ごとにトラック分けし、曲ごとにファイルを分割することができます。ここではその手順について説明しています。

- **ステップ1；**　編集するWAVファイルをインポートします。

  「ファイルを開く」ボタンから、編集したい WAV ファイルをリスト上にインポートし、リスト上に登録した中から編集する WAV ファイルをクリックして表示します。

(上記図は 1 つの WAV ファイルをインポートした状態)

- **ステップ2；**　トラックを分割する箇所で波形をクリックすると、下にしめすように分割線(赤い▼マーク)が追加されます。



分割線は、ライン上の分割したい箇所でクリックする、または赤い▼マークをドラッグして位置を調整できます。

- **ステップ 3；**　分割線を配置した箇所で分割ボタン( )をクリックしてトラックを分割します。

トラックを分割すると、分割された箇所(

)の上に [X] マークが表示されます。 分割されたトラックが書込みリストに追加されます。

- 「分割」を元に戻す方法

分割マークの上にある [X] をクリックすると、分割マーク前後のトラックを結合します。

- トラックの選択、または選択の解除方法

書込みリストまたは波形上の各オーディオトラックにチェックを入れたり(選択)、またはチェックマークを外す(選択解除)ことができます。

ここで選択したトラックは、後述 14 公開（ファイルの変換/書き込み）の作業の際、そのリストに反映します。

14.3　エフェクト効果

オーディオトラックに以下のエフェクトを加えることができます。

1) 増幅
2) ノーマライズ
3) ノイズリダクション
4) フェードイン／フェードアウト

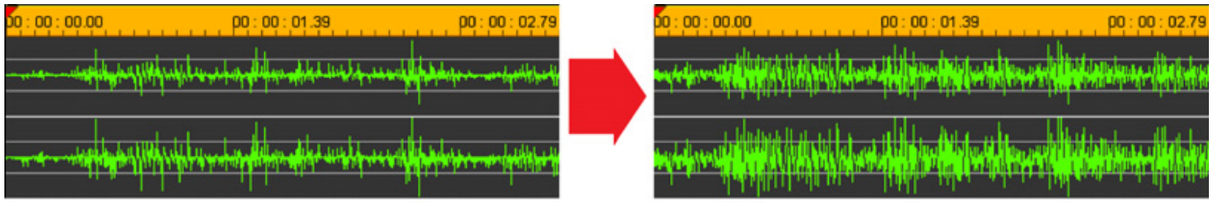
- 最初の 1～3 のエフェクトは、トラック全体に適用されます。「フェードイン／フェードアウト」は、選択した箇所にのみ適用されます。

- **増幅**

増幅(デジタルアンプ機能)を使うと、選択したトラックに対して音量レベルを増減することができます。プレビューボタンをクリックすると、エフェクトを適用する前に確認できます。

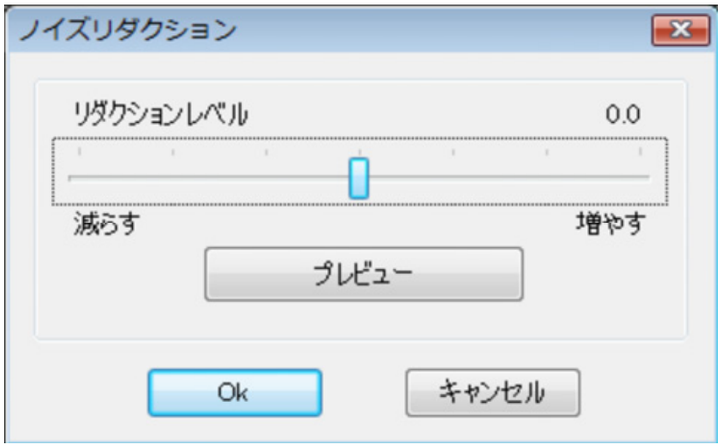
- **ノーマライズ**

  デジタルノーマライザを使って不均等な音量を調整します。



（調整前）　　（調整後）

- **ノイズリダクション**



不要なノイズや雑音を録音したトラックから減らすことができます。

※トラックに含まれるノイズを完全に消し去るものではありません。

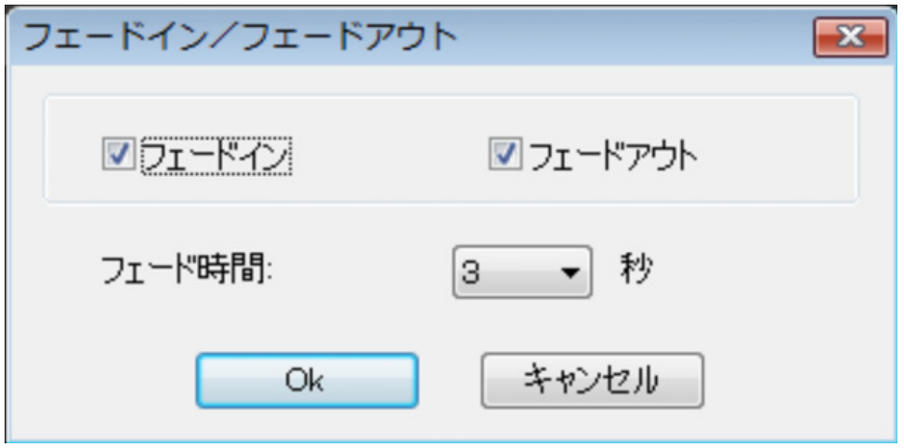
1. ノイズリダクションのレベルを調整して、プレビューボタンをクリックすると結果を確認します。

   「減らす」側へ移動するとノイズが増え、「増やす」側へ移動するとノイズを軽減します。ただし、調整値を移動しすぎますと、音

質も悪くなりますので、適正に行ってください。

2. 調整できたら、OK をクリックしてエフェクトを適用します。

- **フェードイン／フェードアウト**



オーディオクリップの始まりまたは終わりにフェードイン／フェードアウトを適用できます。

- フェードイン

選択した長さで音量を上げます。

- フェードアウト

選択した長さで音量を下げます。

15.　公開（ファイルの変換/書き込み）

15.1　公開(ファイルの変換/書き込み)画面

ここの機能は、リスト上に登録されている WAV ファイルを選択して、MP3 ファイルに変換したり、オーディオ CD または MP3 CD を作成したりすることができます。

※ オーディオ CD または MP3 CD の作成は、CD-R/RW ドライブなどの書き込みドライブが必要です。

この画面のリスト上に登録された各トラックの「トラック名」のみ変更することができます。「トラック名」は、MP3 ファイルで出力する場合、

ID タグ内の、「タイトル」の項目に反映されます。

1.

；　出力オプション

作業したい内容を選択します。

- オーディオ CD ；　選択した WAV ファイルでオーディオ CD を作成します
  作成した CD は、一般的な CD プレーヤーで再生することができます。
- MP3 CD ；　選択した WAV ファイルを MP3 ファイルに変換して MP3 形式で CD に書き込みます。
  MP3 CD は、パソコンや MP3 形式のファイルの再生に対応したオーディオ機器のみ、再生することができます。
- MP3 ；　選択した WAV ファイルを MP3 ファイルに変換します。

※ リスト上の「ファイル名」「トラック名」に記述された名前が、ID3 タグ情報(アルバム名、曲名など)の情報として、MP3 ファイルに追加されます。

2. ; オプションボタン

このボタンは、MP3 CDまたはMP3ファイルタイプが選択された場合にのみ有効です。 サンプルレートおよびビットレートを含むMP3ファイルの設定を変更できます。

3. ; 取り出しボタン

CD/DVD 書込み装置のトレイから取り出します。

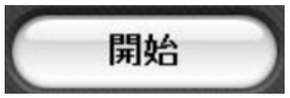
4. ; 出力フォルダ設定

出力先のフォルダを選択します。

5. ; 追加／削除ボタン

書込みリストにトラックを追加または削除します。

ID3 タグ情報がトラック名フィールドに表示されます。(追加できるファイル形式は、WAV、WMA(著作権保護付を除く)形式以外は追加できません。

6. 

; 開始ボタン

書込み／変換処理を開始します

7.

; 閉じるボタン

公開(ファイルの変換/書き込み)ウィンドウを閉じます。

8.

;空きディスクスペース

CD-Rの空きスペースを表示します。

赤色部分は、書き込むファイルのサイズがCD-Rの利用可能スペースを超えていることを示しています

赤色部分が表示された場合は、リストから適切な数のオーディオファイルを削除してください。

9.

; 書込み状態

書き込みの進捗を表示します。

10.

; 書込みドライブの選択

パソコンに接続されている CD/DVD 書込みドライブを選択します。

11. C:₩Documents and Settings₩khryu₩My Documents₩My Music₩HT Audio Recorder₩Alb ; 出力フォルダ

    変換したトラック(ファイル)を保存するフォルダを選択します。

12. My Music_212432 ; アルバム名

    「アルバム名」を入力します。 MP3 ファイルの ID3 タグに既にアルバム名がある場合は、自動的に挿入されます。

    「アルバム名」は 30 文字以内で指定します。

15.2　WAV ファイルからオーディオ CD または MP3CD を作成する

オーディオ CD の作成は、「録音」画面からでもできますが、ここでは、「編集」画面から、オーディオ CD を作成する場合について説明しています。「録音」画面からの手順も基本的な流れは同じです。

注) 「オーディオ CD」は一般的な家庭用の CD プレーヤーで聴くことができますが、「MP3CD」は MP3 形式のファイルの再生に対応した機器でないと、再生はできません。

1. 空の CD-R をパソコンの CD ドライブに挿入します。
2. リスト上からオーディオ CD を作成したいトラックのチェックボックスをクリックし選択します。

3. 変換/書き込みボタン( )をクリックして「公開]」画面を起動します。

4. 「公開」画面上部メニューより、「オーディオ CD」をクリックして選択します。

5. 「空きディスクスペース」の容量は、CD-R メディオの容量を示しています。

容量に余裕がある場合は、追加ボタン( )で WAV ファイルを追加することができます。

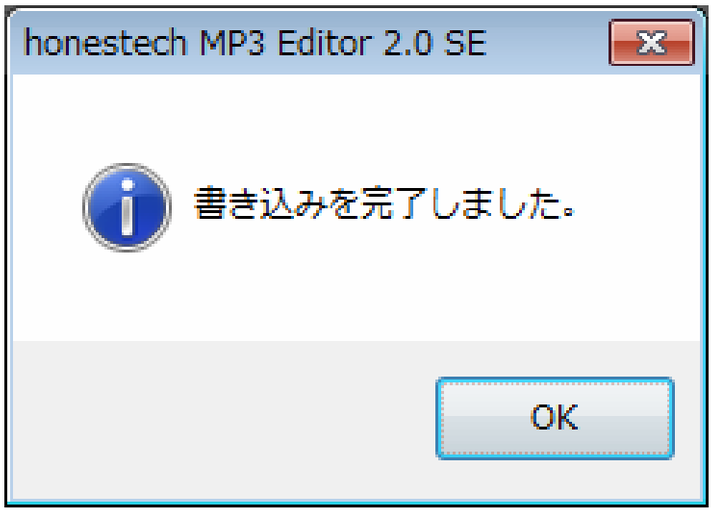
※注）WAV ファイル以外はファイルを追加することはできません。

「赤ライン」が表示されている場合は、書き込みするデータ容量をオーバーしていますので、リスト画面より、書き込みするファイルの選択を減らし、容量を調整してください。

6. 書き込むファイルの選択が終わりましたら、開始ボタン(

)をクリックすると CD の書き込みが開始されます。

7. 書き込みが終了すると、「書き込みが完了しました」の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックして、CD を取り出してください。



15.3　WAV ファイルを MP3 ファイルに変換する。

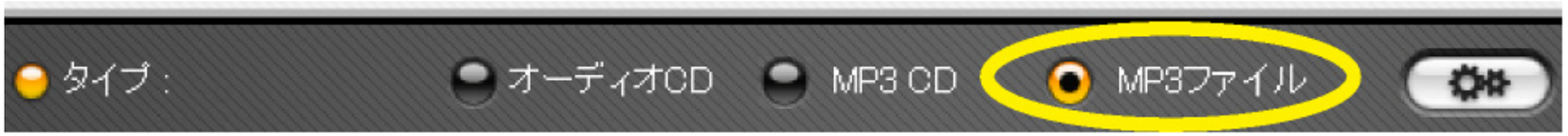
MP3 ファイルの変換は「録音」画面からでもできますが、ここでは、「編集」画面から、MP3 ファイルへ変換する場合について説明しています。

「録音」画面からの手順も基本的な流れは同じです。

1. リスト上から MP3 ファイルに変換したいトラックのチェックボックスをクリックし選択します。

2. 変換/書き込みボタン( )をクリックして、「公開]」画面を起動します。

3. 「公開」画面上部メニューより、「MP3」をクリックして選択します。



4. 「出力フォルダ」を確認します。MP3 に変換したファイルは、ここで指定したパスに保存されます。必要に応じて出力フォルダ設定ボタン( )から保存策を変更してください。

5. 「アルバム名」の項目は変更できます。変更した名前のフォルダが、上記で指定した出力先のフォルダに作成されます。

6. リスト上の「トラック名」を必要に応じて変更してください。
ここで名付けた「トラック名」が「ファイル名」と「ID タグ」のタイトルに指定されます。

7. 各設定が終わりましたら、開始ボタン(

)をクリックするとMP3 ファイルへの変換が開始されます。

8. MP3 ファイルへの変換が終了すると、「変換が完了しました」の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックして終了です。

16.　よくある質問

Q1. ファイルをリスト上に追加し、honestech MP3 Editorで編集や、CD-Rなどへ書き込みなどを行うと、ソフトが強制終了する。

A1. 本ソフトウェアで追加できるファイル形式は WAV、WMA(著作権保護付を除く)形式のみとなります。それ以外の形式のファイルを追加して、編集や書き込み等は行えません。

Q2. 「録音」画面のリスト上にあるファイルを削除したい。

A2. 「録音」画面のリストは、「編集」画面にある「オプション」設定の「出力フォルダ」に指定されているフォルダ内の保存されている WAV ファイルのすべてが表示されます。　リスト上から削除するには、不要になった WAV ファイルを「削除」または、別のフォルダへ移動してください。

Q3. テープから録音したファイルにノイズが入る。

A3. 録音元のテープに含まれるノイズも 1 種の音として録音されます。そのため録音したファイルには、そのノイズも録音されてしまいます。対策として、ノイズリダクション機能を利用し、ノイズを低減させ

て録音を行ってください。

Q4. 「編集」画面で「自動分割」にてトラックの分割を行っても、トラックが分割されない。

A4. トラックの自動分割機能は、無音区間が短会場合や、無音区間部分にノイズが混入しているような場合は、自動分割されません。
この場合、手動にてトラックの分割作業を行ってください。

Q5. 作成した CD が、CO プレーヤーやオーディオ機器で再生できない。

A5. 「MP3 CD」で作成されていませんか？　「MP3 CD」で作成した場合は、再生する機器が MP3 ファイルの再生に対応していないと、再生することはできませんので、「オーディオ CD」を選択して CD を作成してください。

Q6. カセットプレーヤーを USB でパソコンに接続して、テープを再生すると、テープの再生ができない。または回転速度が安定しない。

A6. パソコン側 USB ポートから供給される電力が低いと、動作は安定しません。　この場合、カセットプレーヤーに電池を入れてご利用ください。

17.　購入後の保証について

保証期間内(製品の使用の有無にかかわらず、ご購入日より 1 年間)に、日本国内で正常な使用状態でご使用の場合に限り、品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。

- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ① 保証書をご提示いただけない場合。
  - ② 保証書の所定の項目が未記入、または、購入年月日等の書き換え、または訂正された場合。
  - ③ 日本国外での使用による故障。(海外での電源変圧器の使用を含む)
  - ④ 故障の原因が取扱上の不注意による場合。
  - ⑤ 動作保証を行っていない機器への接続や誤ったケーブル、専用品以外の部品等の使用に起因する場合。
  - ⑥ 故障原因が接続本製品以外の機器に起因する場合。
  - ⑦ お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑧ お客様の故意過失による破損。

⑨　天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損害。

⑩　オークション等個人売買により取得された場合。

※　免責次項

- お客様ご自身の故意による破損・改造、または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害、金銭的損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 弊社製品は将来発表されるハードウェア(ハードディスクを含む)・ソフトウェア（OS を含む）との互換性および動作を保証するものではございません。
- 製品の販売終了後、一定期間の経過、もしくは修理・保守部品等の在庫切れ等により、予告なく修理対応を終了させていただく場合がございますので予めご了承ください。

18.　アフターサービス

● 修理をお申込の場合は

保証期間中は、無償にて修理いたします。ただし、保証書に記載している「保証規定」に該当する場合や、中古品、オークション購入品につきましては、有償修理となります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。

※ 弊社が販売を終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。予めご了承ください。

● 修理品の依頼について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を用意ください。

1．本製品の保証書

※ ただし、保証期間を終了した場合は必要ありません。

※ 保証期間内であっても保証書の添付が無い場合は、有償修理扱いとなる場合がございます。

2．下記内容を記載したメモ

※ ご返送先（住所/氏名/電話番号）

※ ご連絡先メールアドレス

※ ご使用環境（パソコンの機器構成、OS）、故障状況（どうなったのか）

3. 修理品を梱包してください

※ 上記でご用意いただいた物と一緒に梱包してください。

※ 輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱、梱包材等で梱包してください。

- **修理の依頼先について**

修理のご依頼の際は、購入店へお持ち込みください。

また、修理を直接弊社にお送りいただく場合は、下記送付先までお送りくださいます様お願いいたします。

※ 原則として、送付いただく際の発送時の費用は初期不良（購入後１ヶ月以内を除き、お客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

※ 送付の際は、紛失を避けるため、宅配便か、書留郵便小包でお送りください。

【送付先】

〒113-0033　東京都文京区本郷 3-43-16　成田ビル 3F

株式会社　ノバック　ユーザーサポート　宛

☎ 03-3817-8711

19.　サポート窓口

本製品に対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所　：　〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16　成田ビル 3F

株式会社ノバック サポートセンター

サポート専用電話　：　(03)3817-0938

受付時間　：　月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く）

AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00

お問い合わせの前に、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってください。

※ お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えください。

※ 電話がかかりにくい場合は、e-mail でお問い合わせください。

保証書

CASSETTE to DIGITAL Compact 取扱説明書

発行日： 第 1 版 2011 年 06 月

発行元： 株式会社ノバック

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16

成田ビル 3F

CM002U110610JO